

サステナビリティ啓発イベント企画・運営業務 仕 様 書

1. 業務名

サステナビリティ啓発イベント企画・運営業務

2. 目的

北九州市は、持続可能な都市としての新たな都市像「Next Horizon Sustainable City」を令和8年1月に発表した。この都市像を具現化する重点プロジェクトの一つとして、Matsuri Project（まつりプロジェクト）を掲げている。北九州市は、長い歴史の中で受け継がれてきた「まつり」をはじめ、市民一人ひとりの情熱と行動によってまちの未来を築いてきた都市である。

本事業では、スポーツ、エンターテインメント、食など多様な要素を横断しながら、市民が日常生活の中で「サステナビリティ」を身近に感じ、未来に向けた行動変容を促すきっかけの創出を目的とする。

3. 業務期間

契約締結日から令和9年12月25日まで

4. 予算上限額

4,175,000 円（税込み）

5. 業務内容

本業務は、令和8年11月25日（水）に実施される、ギラヴァンツ北九州ホームゲームを活用し、多様な要素を有機的に結び付けたイベントにすることで、サッカー観戦という身近で楽しみながら参加できる機会を通じて、「サステナビリティ」を「知る」だけでなく、「体験し、自分自身の行動につなげる」ことを目的とする。あわせて、スポーツとサステナビリティを掛け合わせることで、子どもから大人まで幅広い世代に対し、北九州市が目指す持続可能な都市像を発信するとともに、市民・企業・地域団体等との連携を行う。

<主な業務内容>

- (1) 事前広報 PR 業務
- (2) イベント全体の企画、当日の進行管理および運営
試合：令和8年11月25日（水）14：00キックオフ VS ツエーゲン金沢
- (3) 会場の装飾・演出
- (4) サステナビリティを体験できるコンテンツの企画・実施
- (5) 北九州市および地域のサステナブルな取組の発信
- (6) 関係企業・団体等との調整、連携

実施にあたっては、以下の点を重視すること。

- ・スポーツ・サステナビリティを効果的に融合させること

- ・本イベントは平日昼間の開催を予定しているため、開催時間を踏まえたターゲット設定や効果的な広報・PR等、集客につながる具体的な手法を検討すること。
- ・幅広い世代が楽しみながら参加できること
- ・単なる啓発にとどまらず、行動変容につなげる仕掛けを構築すること
- ・北九州市ならではのサステナブルな取り組みや地域の取組などを来場者にわかりやすく発信すること
- ・会場の装飾・演出については株式会社ギラヴァンツ北九州と調整を行うこと
- ・装飾物については可能な限り環境に配慮すること
- ・市内小学生（約1,000人）のシビックプライド醸成などを目的とした課外授業としての来場を予定しているため、企画・提案にあたっては、当該来場者を想定した内容にすること

6. 成果物

(1) 実施報告書

企画内容、実施スケジュール、運営体制、安全管理体制、当日写真、来場者数など

(2) 広報・PRに関する制作物

イベントで活用したデザインデータ等

※すべて電子データおよび紙媒体（必要に応じて）

7. その他

- (1) 業務の実施にあたっては、市や関係機関と十分に協議を行いながら進めるものとする。
- (2) 本仕様書に定めのない事項については、北九州市契約規則によるものとし、同規則に定めのない事項については、発注者と受注者とが協議して決定する。ただし、協議が成立しないときは、発注者の定めるところによる。
- (3) 運営事業者は、業務により知り得た情報については守秘義務を負う。
- (4) 本業務により作成した書類等の著作権、著作権は本市に帰属するものとし、市の承諾なく、他に公表、貸与、使用してはならない。また、書類の作成にあたって他の個人・団体等の資料を引用する場合、著作権者の了解を得なければならない。
- (5) 本業務の全部を第三者に再委託してはならない。本業務の一部を第三者に再委託する場合は、市に書面により事前に申請し、承認を得なければならない。
- (6) 市が提供する情報・資料等について、本市の許可なく第三者に流布してはならない。
- (7) 次年度の運営事業者に対して本業務（契約期間内に得た情報等を含む。）の引継ぎを速やかにかつ円滑に実施できるよう、必要な措置を講じることとする。
- (8) 市は、運営事業者から委託料の請求があったときは、適法な支払請求書を受領した日から起算して30日以内に運営事業者に支払うものとする。
- (9) 委託料の請求及び支払いは、年度末までの業務の履行状況を市が確認した後に行うこととする。

8. お問い合わせ

北九州市政策局サステナビリティ戦略課

電話：093-582-2156 担当：石田、吉岡、竹本